

10 特許出願公開

# ① 公開特許公報(A)

昭62-206589

Mint Cl.4

17000

識別記号

庁内整理番号

❷公開 昭和62年(1987)9月11日

G 09 G 3/22

7436-5C

春杏請求 未請求 発明の数 1

表示装置の駆動方式 ❷発明の名称

> 顧 昭61-49704 创特

昭61(1986)3月6日

60発明

士

東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内 東京都港区芝5丁目33番1号

日本電気株式会社 の出 願 人

弁理士 内 原

の範囲第(1)項記載の表示装置の駆動方式。

表示装置の駆動方式

### 2. 特許制状の範囲

- (1) 互いに実質的に直角に対向配列された複数質 の行覚傷と列覚根の強択交点が発光する如き表 示パネルの前記行電磁をくり返し、順次走査し、 行電板の走査と対応させて前記列電極を表示デ ータによって選択制御することにより所望の表 示を得る表示基準の駆動方式化かいて、前配表 示パネル彫動用電源の投入時、少なくとも第1 図めの行電板走査の額、煮終者めの行電板が走 査されるまで前配表示パネルを非選択状態とす るととを存骸とする表示装骸の彫跡方式。
- (2) 電鉄投入後前配行電査走査のくり返しタイミ ングを制御する最初の垂直同期信号が発生する まての期間的記表示パネルを駆動するドライベ ーをオフ状態とすることを特徴とする俗許請求

- 発明の詳細な説明- -

〔意象上の利用分野〕

本発明はプラズマディスプレイ等の表示装置の 駆動方式に関し、特に電源投入時のドライバー部 の保護方法に関する。

〔従来の技術〕

従来、プラズマディスプレイ等の表示装置にお いて、外部より入力される垂直同期信号、走査信 号、表示データ及び表示データに問題したクロッ クパルスを加えるととにより表示素子の行業機を くり返し走査し、行電磁の走査と対応させて列電 後を表示データにより選択制御することにより所 . 定の表示を得るという方式が一般に知られている。 との際、行電板の走査は走査信号毎に1回行なわ れ、垂直同期信号が入力される毎に再び第1列が 選択される方式が一般的となっている。

(発明が解決しようとする問題点)

上述した従来の表示装置は、システム全体とし

特關昭 62-206589 (2)

ての電報投入時に表示会<mark>で</mark>への入力信号が安定に 供給されるまでの期間に≯いて、以下のようを欠 点がもった。

6.

すなわち、入力信号が不定状態で供給される話 直同期信号及び走査信号が正常に供給されていた い時、例えば黏直同期信号と走査信号が同じ信号 として加えられた場合等は第1の走査信号が加え られた時に第1行の選択がされ、第2の走査信号 が加えられた時には第1行及び第2行が问時に選 択されてしまりというようにして結局は全行が同 時に選択されるということがおこりうる。このよ うな場合、行を斟酌するドライバーやドライバー に包力を供給する電源などは過気荷となり被損し てしまりという欠点があった。

#### (問題点を解決するための手段)

本発明は、互いに実質的に直角に対向配列された複数曲の行電機と列電機の選択交点が発光する 如き表示パネルの行電機をくり返し、版次定金し、 行電極の定金を対応させて列電極を表示データに よって選択制御することにより所望の表示を得る

スを禁止状態に保ち、定査制御部3から最終行電 電が定査されるととを示す校出ペルスが発生した 時点でリセットペルスを解除し、行ドライベー2... 及び列ドライバー4から出力ペルスを発生させ、 表示ペネル1に所望の表示をさせるものである。 〔発明の効果〕

以上説明した様に本発明は、電源投入後、少なくとも第1回目の行電機定査時に最終費目の行電 概が定査されるととを飛翻するまでリセットペルスを発生させ、表示ペネルを非選択状態にさせる ととにより、列ドライベーキ電標等を破損せずに すむという効果がある。

## 4. 図面の簡単な説明

図は、本発明の一実施例のブロック図である。 1…表示パネル、2…行ドライバー、3…走査 制御部、4…列ドライバー、5…データ制御部、 6…リセットパルス発生回路、7…データ入力部。

代理人 弁理士 内 顧



表示装置の取動方式にかいて、表示パネルの彫動 用電像の電影投入後、少なくとも第1回めの行電 観定変の際、最終者めの行電板が定差されること を確認するまで、表示パネルを非選択状態とする ことを特徴とする。

#### (実施例)

次化、本発明について図面を参照して説明する。 第1図は、本発明の一実施例のブロック図である。 1は、ブラズマディスプレイ、EL等の表示パネル、2は行電機を駆動する行ドライバー、3は行ドライバーを制御する定査制御部、4は列電機を駆動する列ドライバーを制御するデータ制御部、6はリセットパルス発生回路、7はデータ入力部、8は外部からの垂直回期借号、9は外部からの水平周期信号である。

電源投入と同時にリセットペルス発生回路6からリセットペルスが発生し、リセットペルスを行ドライベー2及び対ドライベー4へ入力することにより表示ペネル1を駆動するために行ドライベー2及び対ドライベー4より発生される出力パル

